

<添付資料#11-1c>

## ワークショップ・セミナー 対前年比

### ○ ワークショップ

	平成19年度	平成20年度
開催回数	7	8
参加者数 (うち外国人数)	251 (183)	569 (226)

※主催ワークショップの合計回数。後援ワークショップは除く

### ○ セミナー

	平成19年度	平成20年度
開催回数	51	92
参加者数 (うち外国人数)	—	2,316 (1,161)

※平成19年度は参加者数の調査を実施せず

<添付資料#11-2>

ワークショップアンケート

**Cell Regulations in Division and Arrest under Stress**

**分裂と停止の細胞制御**

日付: 2008年4月6日~4月10日

回答数 35 件 (講師 17、参加者 11、OIST メンバー3、その他 3、不明 1)

**1. 講義内容**

優良(25)、良(8)、可(1)、不可(0)、未回答(1)

- ・ 広範囲で奥深いのが特徴で面白い。
- ・ 講演者にマイクを正しく使うようお願いしてほしい。
- ・ Guillerova さん、カデワキさん、モリさんは特に良かった!

**2. 会場設備**

優良(28)、良(6)、可(0)、不可(0)、未回答(1)

**3. 宿泊施設**

未回答(1)

リザンシーパークホテル (講師): 優良(15)、良(1)、可(0)、不可(0)、未回答(1)

シーサイドハウス (参加者その他): 優良(9)、良(7)、可(1)、不可(0)

- ・ 沖縄料理が出れば尚良い。
- ・ 部屋が暑過ぎ!

**4. 食事**

優良(25)、良(10)、可(0)、不可(0)

**5. 事務局**

優良(28)、良(5)、可(1)、不可(0)、未回答(1)

**6. 沖縄の印象**

優良(24)、良(10)、可(1)、不可(0)、未回答(1)

**7. 他のご意見、ご提案**

優良(12)、良(4)、可(1)、不可(0)、未回答(18)

- ・ 自由時間が夜か午後であり、沖縄を探索することができると良いだろう。
- ・ このミーティングの全てが素晴らしかった!!
- ・ とても素晴らしいミーティングだった。ありがとう!
- ・ とても刺激的で、考えをもたらししてくれ、楽しかった。
- ・ 将来的に、このワークショップのプロモーションを増すよう努めてほしい。
- ・ 40 unit が最良! 素晴らしいワークショップだ!
- ・ 聴衆者になぜこういう形態が必要なのかを説明する必要があったと思う。

ワークショップアンケート

**Protein 3D Structure Visualization and Structural Bioinformatics**

**タンパク質の三次元構造の可視化と構造バイオインフォマティクス**

日付: 2008年5月13日

回答数 16 件 (講師 1、参加者 15)

**1. 講義内容**

優良(12)、良(4)、可(0)、不可(0)

- ・ 良いプレゼン。価値がある。事前に私たちの構造を選んでソフトウェアを試せたら、時間短縮になったかもしれない。ワークショップは2時間程短くても良かったかもしれない。
- ・ このトピックに関しては何も知らなかったが、短い時間で多くを学んだ。実地体験がありとても良かった。
- ・ 可視化のモデル

**2. 会場設備**

優良(11)、良(5)、可(0)、不可(0)

**3. 食事**

優良(9)、良(4)、可(0)、不可(0)、未回答(3)

- ・ 取らなかった(が、コーヒーブレイクの時にどなたかが焼いてきてくれたものはとてもおいしく戴いた)。

**4. 事務局**

優良(14)、良(2)、可(0)、不可(0)

**5. 沖縄の印象**

優良(9)、良(2)、可(0)、不可(1)、未回答(4)

**6. その他のご意見、ご提案**

- ・ 講師の方がトピックの資料(参考文献、ワークサイト等)をセミナー前に教えてくれると便利だったろう。
- ・ (更に内容を掘り下げるために) このワークショップをあと数日間拡大してほしい。

## ワークショップアンケート

Okinawa Computational Neuroscience Course (OCNC) 2008  
沖縄計算神経科学コース 2008

日付: 2008年6月15日~7月4日

回答数 25件 (チューター1、参加者24)

## 1. 以下の点に関して、コースの印象はいかがでしたか。

## 1. 講義内容

- ほとんどの講義が私には少しレベルが低過ぎた。生物学には携わったことがないので、単一ニューロン/カルシウムチャンネル等の内容は難しかった。ザオッピング・リー先生とソフィー・ドヌーブ先生の講義はとて面白かった。
- とても興味深かった。主に議論されたトピックの導入コースは、その分野の専門外の生徒にとって講義から得るものを増すのに役立つかもしれない。
- とてもレベルの高い講義だった。講義を順序立てるようにももっと努めてくれれば、更に良かったであろうけれど。
- 様々なテーマやレベルが網羅されていた。とても興味深い講師陣だった。一日に一講義、一講演者というのが、集中することが出来て、私には良かった。現代教育科学的には3時間の講義形式はついていくのが難しい。補足すれば、より対話型、参加型の授業形式を検討しても良いかもしれない。
- 卓越した講義。私にとって新しいことが多かったが、そこから沢山のことを学んだ。
- 素晴らしい。
- 良い。認知神経科学モデリングも網羅していれば、もっと良いかもしれない。
- 講演者の方々は必要な情報を詳細に説明してくださり、とても大変なことだったと思う。内容や時間管理がとてもしっかり出来ていた。
- とても良い。一つだけ意見するならば、最初の数日間でのパラレルトラックの時に、別の講義も受けてみたかった。
- トピック、スケジュール全般ともに良い。しかし、3時間の講義には2回の休憩を挟むべき。1回は少ない(1回の長い休憩より2回の短い休憩の方が良い)。
- 様々なトピックがためになり、役に立った。3時間の講義は良いが、休憩を二回挟むことをお勧めしたい。1.5時間も集中するのは少し難しい。
- 全ての講義がとても楽しかったが、難しい数学には時折ついていけなかった。実験主義者のためにも、基礎的な数学クラスがこういう講義の前であれば助かっただろう。文献を前もって読んでいたが、それでもついて行くのは難しかった。もう一点は、シミュレーション・ソフトウェアのチュートリアルは非効率的だった。特にNESTは。私が必要だったのはMatlabのみだった。生徒達とのソフトウェアを使うか事前に話し合い、必要なソフトウェアを教えるべきだった。
- 良かったが、順番はもっと整理されている必要が実際にはあった。例えば、マイケル・ハウザー先生の講義がコースの早い段階で行われていれば、他の講義の入門として有益だったろう。
- 何人かは実験主義者であり、様々なトピックにおいて理論的背景にあまり熟知していないことを考慮すれば、いくつかのトピックは詳細に説明しても良かったのではないかと。例えば、強化学習の基礎入門書、機械学習能力理論、等。また、樹状形態の人達は作業記憶モデルの講義では何も分らない様子で、その逆も然りだった。
- 私としては、機械学習能力・情報理論・概念的的手法よりも、生物学的モデルについて興味があった。理論家として私は実験家から、特に行動に関連した分野に取り組んでいるが、通例はモデルに焦点を当てていない(例、神経内分泌学等)実験家から、もっと話を聞きたい。私にとってこのコースで最も価値があった点は、各分野の専門家である実験主義者と話し、どれが有用なモデルかについて意見を伺うことが出来たことだ。
- 講義の科学的質は素晴らしい。講演者らは生徒達が講義中やその後でした質問にも対応して

いた。実験的、理論的な神経科学がバランス良く組み合わせられていた。

- 講義の質がとて良かった。時間の長さ(3時間)も申し分ない。
- ほとんどの講義が私の分野ではなかったため、理解するのが難しかった。しかし全ての講義から大変に刺激を受けた。私にとって特別な経験となった。
- 時間は良かった。ただ、もう少しシステムレベルの話が聞きたかった(これは私の研究的興味からであるし、きっと他の参加者は逆のことを言うだろうけれど)。
- ほとんどの講義は興味深く有益なものだった。いくつかの講義がもっとコース重視であれば、もっと役立つだろう。
- 素晴らしい題材が網羅され、たくさんの異なったトピック全てが大変に興味深く、私の研究分野とは異なった。素晴らしい講師の方々にお会いでき、また、ラボへ数ヶ月間参加するよう招待まで頂いたので、進めたい。
- シャオ・ジン・ワン教授の意思決定におけるネットワークモデルとクリストフ・コッホ教授の人体実験のお話には感嘆した。
- 良い集まりだった。最初の週にあったソフトウェアのチュートリアルは多分多過ぎた。でも、私にとって目新しい内容ではなかったため、役立つ内容だったのかは分からない。講義は、休憩が1回だけより、2回短く休憩がある方がずっと良い。
- もっと入門用講義が必要である。
- マイケル・ハウザー先生の講義の組み立てが、講義の最初の3分の1の時間で基本要旨を説明しており、大変良い。他の講演者も同じような組み立てであったら良かっただろう

## 2. 生徒のプロジェクト

- プロジェクトに関して何も不満はない。タダシとあまり時間を過ごすことはなかったが、彼はいつも私の様子を伺い、必要なときは対応してくれた。
- 太郎はこの3週間とても頼りになった。彼には沢山のことを学び、彼の対応には感謝している。
- このプロジェクトの発想は良かったし、そこから多くを学んだ。
- 太郎と議論することで多くを学んだ。私のプロジェクトについて彼が聡明で重大な質問をすることで、私の考えが徹底的に設計、構築されることになり、物事を明確にするのにとても役立つ。また、統計物理学者としての彼の視点から恩恵を受けることができた。
- 色々学んだし、実験研究のモデル結果から利益を得られるだろう。特にOCNCで私がしたモデリング研究は新しい仮説を生み出してくれた。
- もしチューターを変えなければならなかったとしても、私は自分のプロジェクトから学んだことに満足している。
- 私達を常に忙しきさせるのは良い方法である。また、私達の研究アイデアが発展するよう促され、ここにいる専門家からフィードバックや提案が得られるのは、良いアイデアだ。
- チューターと生徒達は与えられた課題にとて真剣に取り組んでいた。
- これは大変に役立った。プログラミングの経験がほとんどなかったため、チューターは大変頼りになった。異なった専門を持つ複数のチューターから話が聞けるのが特に良かった。
- 基本的にプロジェクトは必要。チューターは私のプロジェクトにぴったりだった。
- 彼の生徒達に対する献身さと誠実さには特に感謝している。とても助けになった。
- このサマースクール中に良いシミュレーションの結果は出せなかったが、トムのサポートのおかげでプロジェクトには満足だった。少なくとも次回は何をすべきか分かったので、このプロジェクトを続けることができるし、できれば、いつか結果を発表したい。
- 明らかに助けが欲しい時に、私のチューターは私のプロジェクトを助けることも本当に理解することもできないように見え、非常にがっかりした。また私のプロジェクトを理解してくれなかった。全く簡単な神経回路のことだったので…。結果的に作業の95%以上は指導を得ることなく終わった。
- トム・テツラフは素晴らしいチューターで、忍耐強く、聡明だった。彼の専門知識と、快くモデリングの基礎を教えてくれる姿勢から、多くを学んだ。
- 私のチューターは私のプロジェクトに関する文献にあまり精通していなかったため、詳しく助けてもらうのは困難だった。幸い、この文献からモデルを発見し、複製し拡大できた。けれども、周囲には小さな問題を助けてくれる人達が大量だったので、良かった。
- 最終的には私の生徒プロジェクトは満足できる結果となった。最初の頃は、ソフトウェアとシミュレーションの動作環境が上手くいくまでに随分と時間がかかった。チューターと作業できるのは良かったが、彼はNESTにあまり精通しておらず、代わりにNEURONで作業していた。なので、生徒とチューターをもっと上手く組み合わせよう考えることができたはず。使用するソフトウェアXの利用方法が分かるチューターが、ソフトウェアXでプロジェクトを進めたい生徒を指導すべき。

- プロジェクトはうまく整理されていて、チューターとの意見交換もし易かった。それにしても、第一週の終盤には、生徒達に自分のプロジェクトをざっと公表させれば良かったのではないかな。でないとも、プロジェクト探しや、テーマを見直して変更するのに、随分と時間がかかっている。
- 実際のところ、トニーとはあまり議論できる機会がなかった。でも、多くの参加者が私の良き先生となってくれた。自分のプロジェクトにもがき奮闘したことは、良い経験となった。
- 私のチューターであるパブロや他のチューターの方々も、素晴らしいかった。
- チューターと参加者の密接な交流は常に有益なものだった。
- 私のチューターはとても頼りになり、私が何をしたいかという説明に耳を傾け、プロジェクトを大いに助けてくれた。必要なときは常にいてくれ、何時間でも作業してくれた。
- 私の素晴らしいチューターにとっても感謝している。自分のプロジェクトにとっても達成感を感じている。私が現在取り組んでいる実験研究を再生するスパイキングネットワークモデルが出来た。このモデルを更に展開させていきたい。
- もう少し熱心に取り組むべきだった。ピーチへの誘惑がとても強すぎた…。
- 計算神経科学には全く触れたことがなかったので、特定のプログラムをどう使用するのかを学ぶのに基本的に伴ってくる単一神経細胞モデルを選んだ。でも今思えば、もっと計算神経科学の概念に関わった、もっと学習体験を満たせるようなプロジェクトを見つけたかった(例. Ga 拡散)。

### 3. ポスター発表

- 疲れた。
- 良い。
- 皆が時差ぼけしている時だったので疲しかったが、これはきっと避けられないだろう。
- 私にとってはとても短かった。皆の研究アイデアを聞くには4時間では足りない。サマースクールの期間中ずっとポスターをどこかに貼っておけないのだろうか。
- ポスター発表はあまり有益ではなかったと思う。第一週の終盤に生徒同士がもう少しお互いのことを知ってもっと話せるようになってから実施すれば良かったかもしれない。
- ポスターセッションは他の生徒達の研究を学ぶ良い機会になり良かった。残念ながら、全てのポスターを見る機会がなかった。もう2日間そこに(または場所があればどこでも)置いてあれば良かっただろう。
- とても興味深いポスターばかりだった。でも、もっと時間を取って勉強できるよう数日間貼ったままにしておくのは良い考えだろう。
- 生徒達の研究について学ぶ機会だったのだから、OISTのメンバーの方ももっと参加しても良かったのではないかな。
- 良かった。他の人達の研究や関心を知ることができた。
- 自分達の研究について人々と交流できる素晴らしい機会。
- 他の参加者を知る良い方法だった。そして、時間の長さもちょうど適当だった。
- ポスターセッションはとても重要だ。ポスターは、ずっと、または、実際のポスターセッションに加えて少なくとも数日間、貼りだしてあれば良かった。
- 短く、分割し、もっと集中したポスターセッションを勧めたい。例えば、最初の週を通して毎日5時から6時まで各5人の生徒が行う。そうすればお互いの研究的興味をもっと徹底的に共有できる。
- これについては少し不満を言わなければならない。たくさんの方が一つのポスターで止まっていて動かなかったので、興味のあるポスターをいくつか見ることが出来なかった。また、ポスターのための場所が十分に広くなかった。ポスターセッションを2つか3つのセッションに分割して違う日に実施することを勧めたい。また、ポスター+アルコール=素晴らしいディスカッションになると信じている…。
- 長過ぎた。他の生徒達の背景を掴み、お互いに打ち解けるためには、貴重な時間だった。
- とても活気に満ちていた。(ただ、皆はプレゼンの順番を守っていなかった。沢山の人が4時間ずっとポスターの説明をしていた。)別々の部屋で2セッション実施しても良かったかも。
- セッションの後半には、ほとんどの人達がポスターを見るのに疲れたようだったので、2番目のセッションでポスターを見せた人達はあまりフィードバックを得られなかった。最初のセッションの時間を短くしてみようか。
- 皆の所属機関での研究の概要を簡略に知るのに良い機会だった。ポスターセッションでこうすることにより、興味のある特別な研究を選ぶことが出来た。
- 興味深かった。ポスターの並びは、生徒の名前のアルファベット順でなく、トピック毎に分類しても良かったのでは。そうすれば同じ分野で研究する生徒達をお互い話し合う状況に持っていきやすいだろう。
- 講義と自分達の研究とをリンクさせて色々議論できるかもしれないので、コースの最終段階で

実施する方が良いと思う。

- バックグラウンドがあまりに違い過ぎて他の人達の研究を理解するのは少し難しかったので、それほど有益に感じなかった。ただ、他の参加者を知る良い機会ではあった。
- 悲しいことに一日遅れて到着(ポスターセッション当日)したので、最後の15分しか見ることが出来なかった。今後は、最低でも1週間はポスターを貼っておいてほしい。そうすれば生徒はもう少し遅れがけでなく講師がいる間に、生徒は生徒同士や講師に対して発表できるので。
- 他のポスター発表を聞く方にとっても自分のポスターを発表する方にとっても時間が短過ぎた。
- ポスター発表は、他の参加者と会い、このコースに象徴される研究背景の多様性を感じられる、素晴らしい方法だった。

### 4. エクスカーション

- とても良い。
- 素晴らしい。
- 面白かった!
- 良く準備できている。
- あまり有益ではなかった。
- OISTの敷地内にもう少し見るところがあったら、もっと良かったかもしれない。ラボ見学は楽しかった。
- その日は病気だったので、行けなかった。
- 水族館見学は素晴らしいかった。開催してくれてありがとう!
- ポスターセッションでラボのスタッフがいて研究を発表して、銅谷ラボの準備の良さに感動した。
- (雨が降った事を除けば)良かった。
- 雨が降ったりバスが道で立ち往生してしまったりと災難! またキャンパスが完成したら見に来たい。
- ラボ視察は良かったし、必要なものだった。
- 楽しんだ。銅谷ラボでポスターセッションを開催したのはとても有益だった。
- 水族館のこと? 建設地のこと? 実のところ、どちらも楽しかった。
- 良い土産話になると思う!
- 水族館見学は素晴らしいかった。もう少し長く居られたら、もっと良かったけれど。
- 水族館見学はとても楽しかった。キャンパスサイト視察については、バスが道で動けない状態になったり、続けて大雨が降ってきたりして、少し困った。そうでなければ、自分達で旅行を計画できて、予め計画されたものに強制的に参加させられるのでなければ良かった。
- 素晴らしい。日曜日にOISTを離れて、島内観光できる機会があるのは良い。
- エクスカーション後半のラボ見学はとても興味深く、楽しかった。でも前半の建設計画地視察はそれほど面白くなかった。
- 素晴らしいかった! 天気が悪かったのは残念。
- 勝連城趾は良かった。銅谷ユニットのロボットがとても興味深かった。
- もう少し日本・沖縄的な文化に触れられたら良かった。
- どれのこと? キャンパス建設地見学? 5年後の完成後に戻ってきたい!
- ラボ見学は少し急がされているように感じた。ラボの一つを選んで、もう少し長く居られたら良かっただろう。加えて、小さな点だけれど、ツアーの間に高橋ラボを見学できたら良かった。

### 5. 会場設備

- 最高。(5件)
- 完璧。(2件)
- 素晴らしい。(2件)
- とても良い。(2件)
- 良い。(2件)
- 素晴らしい! 10点満点。
- 施設は良かった。ミーティングルームの壁に書くことが出来るのは面白かった。
- ミーティングルームの管理は素晴らしいかった。
- とても良い、涼しくて明るい、電源とワイヤレスも整っていた!
- 特に「書ける壁」がお気に入りだ。
- シーサイドハウスはこのようなサマースクールをするには完璧な場所だ!
- とても実用的。この建物は交流がしやすい。
- 良かった。でも時々セミナールームの端に座るとスライドが見づらかった。可能であれば部屋の前方に椅子をもういくつか置けると良い。

- ・メインで講義を行っていた講義室は素晴らしかった。最初の数日間(理論家の部分で)使用した部屋は狭過ぎた。
- ・タクシーのおかげで、シーサイドハウスへ簡単に辿り着けた。
- ・セミナールームは素晴らしかった。

## 6. 宿泊施設&食事

- ・素晴らしい。(5件)
- ・最高。(4件)
- ・完璧。(3件)
- ・これも良かった。
- ・とても良い。
- ・良い。
- ・宿泊施設は何も問題ない。食事も素敵だったが、時々何回も同じメニューが出てきた。1~2回はどこかのレストランで食事を用意すると良いかも。
- ・食事は美味しかったし、部屋もとても良かった。
- ・食事は素敵だった。新鮮なフルーツが1日3食とも出てきて嬉しかった。ベジタリアン用の食事が時々欲しくなった。
- ・完璧な部屋、美味しい食事、エアコンは時々少し寒過ぎた。
- ・美味しい食事と良い部屋。海の眺めが最高だった。
- ・宿泊施設は最高で、食事も良かった。(食事はもう少しバラエティーに富んでいてもよかった)
- ・最高!(唯一の不満は、エアコンが寒過ぎ!)
- ・両方ともに良かったが、毎食に必ずベジタリアン用の食事があるわけではなかった。ほぼ毎年ベジタリアンはいらるだろうから、毎食最低1~2種類はベジタリアン用の料理を提供すると良いだろう。
- ・完璧!食事はとても美味しく、これ以上は望めない!
- ・部屋はとても良かった。でもベッドと枕は私には硬過ぎた。食事は満足できるものではなかった。毎日ほとんど同じものを食べなければならなかったから。
- ・最高!毎日新鮮なフルーツを堪能し、確実に体重が増えた。
- ・宿泊施設に関して、枕は硬くて高過ぎた。椅子も同じく硬かった。海やテニスコートがとても近いので、シーサイドハウス周辺環境は良かった。食事については、食事は毎日ほとんど同じ内容だった。だから飽きた。洗濯機はとても便利だった。
- ・宿泊施設、食事とも文句が一つも見つからない。本当に素晴らしかった!

## 7. 事務局

- ・完璧。(3件)
- ・すごい!
- ・最高。
- ・素晴らしい。(3件)
- ・とても良い。
- ・良い。
- ・問題なし。
- ・最高!これ以上に親身になって助けてもらうことなんてできない。
- ・スタッフはとても感じが良く、いつも居て助けてくれた。どうもありがとう!
- ・オフィスにいた全員がとても助けになってくれた。どんな質問にも答えてくれ、いつも出来ることは何でもして全力を尽くしてくれた。
- ・スタッフはとてもフレンドリーで助けになってくれた。
- ・全てを手配するために大いなる努力をしてくれた。
- ・最高。全てが明確になっていて、つゆき、あつこ等々、とても助けになってくれた。タクシーを呼んだりカラオケ屋に電話したりと社外活動についても助けてくれてコースを本当に素晴らしなものにしてくれた。
- ・素晴らしい、皆さんありがとう!
- ・素晴らしい、有能でフレンドリー。
- ・とても助けになった。ありがとう。
- ・とても感じが良く助けた。全て助けてくれてありがとう。あなた方なしでは、コースはスムーズに進まなかっただろう。
- ・とても有能!どうもありがとう。
- ・素敵にもてなしてくれた。文句のつけようがない。

- ・とても良い。助けになってくれたスタッフの皆さん、本当にどうもありがとう。
- ・とても良い!皆さん、私達のために色々楽しいことを準備してくれ、素晴らしい仕事ぶりだった。
- ・シーサイドハウスのスタッフは素敵だった。常にフレンドリーで助けになってくれた。

## 8. 旅行の手配

- ・完璧。(2件)
- ・最高。(2件)
- ・素晴らしい。(2件)
- ・良い。
- ・完璧。問題なし。
- ・大体において良かった。
- ・どうもありがとう。
- ・コースの前か後にもう少し日本に滞在できる機会があれば良かったが、OISTがフライトを負担しているのにはそれは難しいということはよく理解している。
- ・便利なフライトだった。
- ・全てスムーズに運んだ。
- ・良い!何も問題なかった。
- ・助けてくれてどうもありがとう。
- ・素晴らしかった。が、別件で東京でのニューロサイエンス会合のために延期したフライトは参加者が国内線分を自己負担しなければならなかったこと、それで差が生じるわけではないのに理由が分からないことを除けば、それよりも、旅行社は参加者が妥当な価格でチケットを購入できるよう日本の航空事情について情報を提供すべきだ。
- ・良い。ただ、法外なキャンセル料や変更手数料のない、もっと柔軟なチケットだったら、もっと良かっただろう。
- ・私の場合には完璧だった
- ・何も言うことはない程、うまくいった。
- ・つゆきが旅行を上手く手配してくれた。
- ・素晴らしい。ただ、思ったより乗り継ぎが多かった。よくある不満とは思えけれど。
- ・素晴らしい。復路のフライト出発時間が朝早過ぎたため、最後の夜のパーティを心置きなく楽しめなかったけれど。
- ・ここでとても言いたいことがある。私は沖縄→ドイツ往復路とも馬鹿馬鹿しいトラブルに遭った。私はドイツのフランクフルトからパリ→大阪→那覇へ飛び、その逆に戻った。
  1. 沖縄に来る途中、パリでバックを紛失された。シーサイドハウスに私が着いた2日後に届いたが、バックは引き裂かれ、物が幾つか無くなっていた。
  2. 帰りの時はもっとひどかった!パリで乗り継ぎをしたかった時、乗り損ねたと気付いた。セキュリティの前には長い列ができていて、航空会社のスタッフは搭乗時間前になっても私を列の前方に呼んでくれなかった。他の乗客にはそうしていたのに。おかげでフランクフルトへの接続便は1時間45分後に乗らなければならなかった。フランクフルトに着いたとき、預けた荷物の一部(ポスターロール)が紛失していた。私は最終地フライブルクへの電車の時間に間に合わせなければならなかったので、申告する時間もなかった。駅に到着すると、フライブルクへの次の電車は午前2時発、午前5時着だった。だから最終的に、私は30時間以上かけて帰ることになった。もちろんこれはOISTの旅行手配のせいではない。ただ、私の場合はパリ経由で日本に飛ばなければならなかったことが問題だったと思う。ドイツのフランクフルトから飛んでいるフライトもあつたはずだと思う。パリを経由したことで沢山の問題が引き起こされ、全旅程が長引くことにもなった。エアフランスとシャルル・ド・ゴール空港には本当に嫌気がさした。この空港経由でこのエアラインを利用することはお勧めしない。私の提案としては、旅行手配にもっと生徒の意見を聞き入れてあげることだ。
- ・フライト予約で、私の名前のスペルが間違っていた(そして今年こういうことがあったのは私だけではなかったと聞いている)。
- ・良い。ただ、もう少し長く日本に滞在したり東京や他の都市を探索できるよう、もう少し柔軟にしても良かったのでは。

## 9. 沖縄の印象

- ・素晴らしい。
- ・本当によい場所。
- ・他からとても隔離されている!

- 日本の魅惑的な一面である。けれども、信じられないほど暑く、湿度が高く、いくぶん孤立している。
  - 美しい島。
  - 場所が好きだった。特に、シーサイドハウスが海にとっても近く、あらゆる海洋生物を見られたので。
  - OIST 以外を見る機会があまりなかったので、判断するのは難しい。美しいビーチと海洋生物。この気候と上手く付き合っていくのは苦勞する人もいるだろう。孤立しているように感じた。那覇はかなり観光地化されているように思えたが、これは自分達が観光地に固執しているだけかもしれない。
  - とても美しい島だが、私の体はこの気候に慣れることを拒否していた。
  - 市街も自然も両方あり、とても素敵な地域。
  - とても好きになった。素晴らしい人々、食べ物、景色。
  - 良い天気と美しい景色。でも少し暑くムシムシしている。
  - ビーチが美しかった。那覇は私には少し退屈だった。
  - 友好的な人々、興味深い文化、他の世界から少し孤立している。
  - 他の人々と触れ合えるよう少人数単位でアクティビティがあれば良かっただろう。休日にはほとんどの人が観光地へ行ききたがるが、行き先は全く同じわけではない。コースの最後に休日があると良いかも。
  - 沖縄の亜熱帯気候、海、フレンドリーな方々は楽しかった。レストランやバーへ数回出かけたが、人々はいつもオープンでフレンドリーで、沖縄の人達はかなり幸せそうな方々だという印象を受けた。残念ながら、あまり田舎の方はあまり見ることが出来なかった。だが、時々かなり貧乏さもあるように思った。例えば那覇や沖縄市では、あまり文化教養的な生活が営まれている印象は受けなかった。他の日本人学生達と話した時、日本の本土を見たいという好奇心に駆られた。いつかそれを実現できればと思う。
  - 素晴らしい島だということがよく分かった。本当に良い場所。
  - 沖縄は、訪れ、住むのにとっても良い場所だと感じる。実際に、沖縄に戻ってきたい。
  - 美しいけど、少し湿度が多過ぎる。
  - 忘れがたい。
  - とても良い。驚くほどの天気と海、素晴らしい食事と仲間。
  - 素晴らしい！また沖縄を訪れたい。
  - 市街地はまあまあ良い。田舎はとても素敵。
10. その他のご意見、ご提案
- カラオケはとても楽しかった（注：外出先？）。ビールの自動販売機はとても便利だった。切手やハガキの販売が事務所内のどこかであれば便利だと思う。
  - 最初の週に自己査定のための生物物理学の任意テストをする。短い進捗レポート（スライド1枚）を生徒に各週させて、誰が付いてこれなくなっていないか、間違った方向に行っていないかを確認する。
  - ラボツアーはもう少し良く計画されていても良かっただろう。生徒達はOISTの様々なラボの現行プロジェクトをもっと良く知るべきだ。
  - OCNC 2008 が忘れられない。
  - ディスカッションフォーラム（注：情報交流のための Web サイトを主催ユニットが開設）はもっと早めに公開されても良かっただろう。
  - 再度ポスタープレゼンテーションについて。もし3週間ずっとポスターを置いておける部屋があれば、「科学的」会話を促すのに絶好だろう。私は非科学的な会話から沢山学んだけれど、どちらかのラボで実験的な技術を学び試せる機会があれば素晴らしいだろう。
  - 忘れられない3週間でどうもありがとう！この素晴らしいサマースクールをいつも思い出すことになるだろう。このOCNCの大きな利点は、主催者は生徒達に自分でプロジェクトをさせ、最良の方法を「探求」させ、満足のいける貴重な科学的成果を出させてくれたこと。このサマースクールを成功させた更なる要因は、見事な設備（宿泊施設と機器）、素晴らしい食事、世界中から参加していた生徒とチューターと地元民との集まりだった。
  - 最大の点はポスターを初日だけでなくもっと長く貼っておくこと。前述参照。
  - 日本語の初級クラスが最初の週にあれば、皆ためになったと思う。（「すみません」、「お願いします」等）。
  - ビーチの岩石をきれいな砂と代えてくれたら素敵。

## 2. 将来のコースについての提案

- もし来年もこのようなコースが開催されたら、同僚に申し込みをするよう勧めますか？
  - はい。(8)
  - はい、当然。(4件)
  - もちろん、はい。(3件)
  - 間違いなく。(3件)
  - 当然。(2件)
  - 当然はい。
  - もちろん。
  - 当然。モデリングに興味のある人を個人的にはあまり知らないけれど、友達に教える。
  - 強く勧める。
  - もちろん、コースにはもう夢中。素晴らしい機会だし、これを見逃すのは残念なことだろう。
  - 当然！もう既に勧めた。
  - はい。でも、もし計算神経科学の知識が既に少しあって、もちろん応用数学のしっかりとした基礎力があれば、コースから得られるものは多大になるだろうと伝えたい。
- コースの長さ
  - ちょうど良い。(2件)
  - 大体良い。(2件)
  - 大体完璧。
  - 完璧な期間。
  - ちょうど良かった。
  - 最適
  - 問題なし。
  - 3週間の終わり頃には、ものすごく長く感じた。
  - 問題なかった。もっと短い期間ではモデリングプロジェクトをあまり成功させることは出来なかっただろうと思う。
  - 幅広い種類の講義を受け、私達のプロジェクトを順調に進めるには、ちょうど充分だったと思う。私のプロジェクトについては、良い監督が付いていれば2週間で大丈夫。他の方はどうか分からない。でももしが、もし講義内容の密度がとても濃く、講義の数とトピックの範囲が今回のようだったら、3週間より少ないと大変に厳しいだろう。
  - 3週間で十分だった。
  - 3週間で良い。もし長くなるなら、土曜日は休日にすべき。
  - いつも充分ということはないが、問題ない。
  - もし生徒のプロジェクトのことを考えるなら、短くも長くもない。だが、もし実験向けの数学クラスにもっと時間を割いたら、とても助けになっただろう。
  - 構成としてはちょうど良い。
  - 私の意見では、少なくともプロジェクトについては、少し短すぎ。結果が最後の週にだけ出始めてきたので、焦りを感じて、もう1週間あればより高い成果が得られたかもしれない。
  - 長過ぎず、短過ぎず。3週間は私にとって最適だった。
  - 長い、必要。
  - 私は自分のしたいようにしていられたので、長さは大変良かった。
  - もっと長くても良かった！
  - 家族と遠く離れているには良かった。皆と一緒にいるには短かった。
  - コースの長さはちょうど良かった。
  - 大体ちょうど良かった。
- 招聘講師とは十分に交流が持てましたか？
  - はい。(7)
  - 講師の方々がもう少し長くシーサイドハウスに留まるか、夜に生徒達と過ごす時間を持つかしていたらもっと良かっただろう。
  - 講義の後の日中に何人かの講師の方々とお話しすることができ、また、生徒達に対する彼らの対応には感謝している。
  - 個人的には十分には交流できなかったが、最も関心を抱く先生とはお話しすることが出来た。自分自身を売り込むための更なる交流を持つことは考えていないけど、もし誰か他にそう考えてい

るなら、試してみるのはいいアイデアかもしれない。

- 生徒達と先生方の宿泊先が異なり残念だった。私にとっては、一日の課題が終わり全ての考えがまとまる夜にテラスでする議論が一番有意義だったから。
- 夜も何日かは一緒に過ごすことができればもっと良かったかもしれない。
- はい、交流の機会は十分にあった。各講師がどの程度滞在するか分かるようスケジュールを公表してあっても良かったかも。
- はい！どうもありがとう。
- はい、何人かの講師と素晴らしい議論をすることが出来た。
- 交流の多い講師とそうでない講師がいた。概ね、はい。
- ほとんどの講師が接触しやすかった。
- はい。ただ、講師の方々は時々シーサイドハウスを随分早めに出て自分達のホテルへ帰ってしまったのが、少し悩ましかった。
- そんなになかった。自分が彼らの話についていけなかったから。
- もっと交流がある方が良い。
- 講師達が講義中やその後多くの時間を私達のために割いてくれ、ものすごく満足している。ほとんどの方々が生徒達の研究にも興味を持ってくれたようだった。何名かの講師とお話し出来た。彼らの優しさや丁寧さに感謝する。
- 講師によるけれど、大体は、はい。
- 交流の多い講師とそうでない講師がいた。シーサイドハウスとホテルを結ぶ交通手段の時間の都合で、講師の方達は私達との交流の時間が制限されていたようだ。

#### 4. 今後取り上げるテーマや招聘講師の提案

- 私はモーターコントロールを専門的とする実験心理学者なので、Emo Todorov や Reza Shadmehr のような講師に会い、感覚運動のシステムレベルモデルについて話が聞きたかった。Konrad Koerding が参加されなかったのは残念！
- 銅谷賢治さんが導入部分の講義に加えて、彼の研究についてお話して下さったのが嬉しかった。この分野（レートコード、バーコード等々）で長年合意のなかったトピックや討論に興味がある。概観を理解し意見を組み立てるのは難しいことだろうが、反対意見を述べる招聘講師とのパネルディスカッションのようなことをすると大変面白いだろう。いつも専門家達のやりとり（とケンカ）を見ると啓発される。
- 今年もそうだったように、広く豊富な多様性を保ってほしい。
- 大学に所属している以外の講師が良いかと思う。どなたか神経科学者のための異なるキャリアの道についてお話しできる方。
- 計算認知神経科学のトピックについてもっと。講演者の例：Randall C. O'Reilly。 <http://psych-www.colorado.edu/~oreilly/>
- 講義の順番は内容が最初の週に導入、初級のものから、段々と難しいものになっていくように再構成する方が良いかもしれない。
- 実験的計測技術のチュートリアルがあると良いと思う。
- 意思決定。Paul Glimcher, Brian Knutson, Daeyeol Lee, John O' Doherty。
- 私のデータ解析のためにこのような段階のこのことを知っておく必要があったので、イオンチャンネルから行動までのトピックが面白かった。銅谷先生のスペシャルトークの中以外ではfMRIトピックが出なかったもので、特にfMRIを専門にしている方々には、fMRIとモデルを組み合わせてお話しができる講師の方々がいると良いかもしれない。
- 今年のようなトピックは、モデルに関して全く分からない沢山の方々にとって、一般観念や感じ方、観点を助ける助けになった。具体的なトピックが彼らの研究をもっと助けられるのでは。
- Gareth Leng - エディンバラの神経内分泌学者で計算モデルや実験をしている。Daniel Durstewitz (私のスーパーバイザー)は実験とモデリングをしている。Wolfram Schultz, Jonathan Cohen, Eve Marder, 他の良い実験者の方々。生徒達を奇抜なアイデアで刺激し挑発する方なら誰でも。抜本的な問題について、特に教授陣を巻き込んで討論すれば良い刺激となるだろう。
- ミズーリ大学セントルイス校神経科学センターのS. Baharさんを推薦したい。彼女は私の論文のスーパーバイザーで、とても興味深い研究者で、生徒達と議論するのが好き素晴らしい人物である。彼女はラットの脳新皮質のてんかん性の行動と神経システムにおける同期化の計算研究の生体イメージを一体化している。 <http://www.umsi.edu/~neurodyn/faculty/bahar.html>
- 行動モデル、精神物理学、fMRI方法。
- 講演は大変良かった。私はこの分野には馴染みがないと思うが、満足と呼べる以上のものを見る事が出来た。

- 神経科学システムについての講義をもう少し聞きたかった。

### 3. OISTについて

#### 1. OIST への求人応募を検討しますか？

- はい。(4件)
- いいえ。(2件)
- はい、予約したい。
- そう思う。
- 多分。
- 今はない。
- 今は、いいえ。
- 今はないが、多分将来的には。
- キャンパスが完成したら。
- ニューヨークに数年いるつもりなので、今すぐにはない。
- Ph.D.の最初の年なので考えるには早いですが、こちらの研究成果と施設の質の高さに驚いている。
- ドイツでの3年契約が決まったばかり。
- OISTは研究のための設備がしっかり整っていて素晴らしい場所。
- 銅谷先生といつか一緒に研究したい。
- もし私自身ももっと確立して他の候補者の方達と競えるぐらいになったら、まだポジションが空いていれば、イエス。
- 今から3年以上先なら考えられる。
- はい、できる。この島は全く孤立しているにも関わらず、ここでの生活は大変快適そう。
- はい！もしできれば。
- はい。私は猿を取り扱う実験研究者なので、もしそのようなポジションに求人があれば応募する。
- 今、沖縄に来てみて、ポジションへの応募を検討することもあり得ると思う。ただ、個人的には長期滞在する土地ではないと感じる。

#### 2. 沖縄に移る、または移らない、もっとも重要な要因は何ですか？

- 孤立 - ここは極めて人里離れていると感じる。言葉の壁もあるので、沖縄に働きに来ることはかなり慎重に考えなければならない。
- 私の夫がここで仕事を探せるかどうか。
- 私にとって一番の難点は、この地が比較的孤立しているという事実。
- 私の伴侶や子供にとって、仕事を探せるか、生活、発展の可能性。神経科学以外に、自分の好きなことが出来て、私の人生のバランスを実現させられるか。
- 気候。私の体には厳しかった。
- 機構外での言葉の壁。残念ながら島のほとんどの人は英語が話せない。
- 言葉、家族。つまり、私のパートナーも沖縄で仕事を探せるかどうか。
- 施設の拡充。
- 資産は素晴らしいと思う。考えなければならない最大の要因は、家族や友達と離れ、孤立すること。
- 利点：自然、財源。難点：孤立（地理的・社会的）。家族にとって不利（例、インターナショナルスクールの不足）。
- 共同研究のために同一分野での主要研究者がいるかどうか。
- 利点：現在の研究メンバー、立地、休日のアクティビティ。難点：沖縄はどこからも大変遠く、那覇は私にとって十分な大きさではない。雷がなく、沖縄ではスキーが出来ない。
- 孤立感…
- どんなに施設や研究者達の専門知識が素晴しくても、孤立した立地が私にとって唯一OISTへの応募を止める理由。全体的なインフラが上がれば、この地も活気づくかもしれない。
- 文化の違いというものは橋を架けられるものだと分かること。だからこそ、コース終了後に個人的に、地方文化と交流し、土地を知る機会があるのが良い。もしこうする機会がなければ、OISTは沖縄から孤立しているかのように感じ、もし来るなら社会の輪はとて小さなものになるという印象を与える。
- 研究以外で楽しめる活動は十分にあるだろうか。文化的な生活、旅行する可能性…。研究者は小さい家族を養えるぐらいの収入はあるのだろうか。または、同伴者に仕事はあるのだろうか。
- 状況。私の故郷であるフランスから遠い。

- ・ 沖縄の文化。
- ・ 移りたい重要な要因としては、センターは素晴らしい、銅谷先生の研究も好きで、日本の文化も素晴らしい。移らない主な要因としては、この辺りはとても孤立していて、私の妻にとっては大変難しいだろうということ。
- ・ 移りたいけれど、数年間だけ（例えば、ポスドクの間）。文化が違い過ぎて長く住むことは出来ないと思う。
- ・ 交通の不便さ。
- ・ 交通（旅行）。科学的なコミュニティの質が重要ではあるけれど。
- ・ 距離、孤立、子供達の学校。
- ・ 気候が私には暑過ぎるし、信じられないほど孤立していると感じる。

### 3. OIST のプロジェクトに関して他の意見やリクエストは？

- ・ 銅谷賢治先生の研究には、報酬に基づく学習やソーシャルロボットの両方とも、とても興味がある。
- ・ OIST には異なる視点から脳幹神経節の研究に携わっている方が大勢いるという点が気に入った。このラボとの協力によって OIST から素晴らしい論文がたくさん出されるのを期待している。
- ・ 素晴らしいアイデア！
- ・ また将来いつか訪れることができたら良いと思う。
- ・ 今回の分野は私にとって新しいものだったので、新しい可能性が開けた。
- ・ OIST プロジェクトの成功を切望している。
- ・ 多くの可能性があり大変面白いアイデアだ。特に、ケンジ（銅谷先生）、エリック（デ・シュッター先生）のような才能ある PI をもっと採用すればと思う。どのように発展するか楽しみにしている。

### 4. 全体的なコメント&提案

- ・ 本当に楽しい3週間だった。時々ちょっと孤立しているように感じたが、満喫した。新しい人々に会ったり沖縄の生活を疑似体験したりと、コースの全てに渡って大変満喫した。OCNC2008 の参加者に私を選んでくれて本当にありがとう。（日本語で）「ありがとうございました。」
- ・ この3週間で学んだ全てのこと感謝したい。高いスキルがある頼もしいチューターの指導の下でモデリングプロジェクトを始める機会が得られ、とても嬉しい。このプロジェクトでこの数ヶ月間に興味深い研究成果を挙げられるよう願っている。
- ・ コースは本当に楽しかったし、沢山の新しい友人や将来的に共同研究者となる可能性のある方々に会えたと、モデリングのことも学べた。
- ・ この素晴らしい3週間でありがとう！！
- ・ サマーコース全体が良く準備されていたし、3週間で十分に学べたと思う。素晴らしい経験だった。ありがとう。
- ・ OCNC2008 での素敵な時間をどうもありがとう。
- ・ 素晴らしいコースと、このように楽しく忘れられない3週間でありがとう。沢山の学び、沢山の素晴らしい方々と出会い、今まで行ったことのないような素晴らしい地を経験できた。
- ・ 生徒30人というのはこのコースにとって適正サイズだ。
- ・ OIST シーサイドハウスは、完璧な宿泊施設、食事、ミーティング会場を持っている。運動できるジムがあるととても素晴らしいだろう。公共のジムに何回か行ったが、エアコンがついてなかった。エクササイズするには湿度が高すぎるし暑過ぎた。
- ・ このサマースクールに私を生徒として迎え入れてくれ、どうもありがとう。人生の中でとても大事な経験となったし、科学と共に世界中の文化も学ぶことが出来た。
- ・ 本当に楽しかった。この機会を与えてくれどうもありがとう。
- ・ このコースはとても良く準備されていて、色々な意味でとても助けられた。これからも頑張っていく！！
- ・ 来る前は、コースが私の PhD にとってどの程役立つのか定かじゃなかった。まだ効果は出ていないが、研究コミュニティの他の人達と交流したこの機会が、家に戻ってから私の研究の質・妥当性を大いに高めてくれるだろう。もし、どんな質問が重要で、他の人達が何に取り掛かっているかを把握できなければ、良い研究成果をあげるのは難しい。このコースの格式張っていない雰囲気は、シニア研究者の方々と話し、彼らから学ぶのに、最高の機会だ。招待してくれて本当にありがとう！
- ・ 全体の印象は大変良い。ただ、旅行手配の点については検討すべき。

- ・ 前述したとおり、生徒達それぞれのプロジェクトを初期の段階でもっと明確に発表させるよう勧める。そうすれば誰が何をしているか知ることができるし、共通のテーマでのグループをもっと簡単に構成できただろう。更には、3週間という期間で枠組を明確にし、もっと効率的な研究ができるだろう。
- ・ この素晴らしいコースを開催してくれ、どうもありがとう！！
- ・ このコースは大切なことを学ぶ良い機会を与えてくれた。この経験は貴重なものに違いない。この計算神経科学コースが沖縄の象徴となることを願う。
- ・ 全てを本当に楽しめた。どうもありがとう！
- ・ どうもありがとう！他の生徒やスタッフに会えてとても嬉しかった。私にとって大変実りのある経験だった。
- ・ 素敵な3週間だった。どうもありがとう。この機会を持つことができ、とても幸運に感じる。



## ワークショップアンケート

## Open Problems in Neuroscience of Decision Making

## 意思決定の神経科学における未解明の問題

日付: 2008年10月15日~10月18日

回答数4件(講師0、参加者4、その他0)

## 1. 講義内容

優良(2)、良(2)、可(0)、不可(0)

- ・ 私には大変感動的だった。

## 2. 会場設備

優良(2)、良(2)、可(0)、不可(0)

## 3. 宿泊施設

シーサイドハウス: 優良(3)、良(1)、可(0)、不可(0)

- ・ これはとても素晴らしい。最近オックスフォード大学に滞在する機会があったが、こちらの宿泊施設の方が遙かに良かった。

## 4. 食事

優良(2)、良(1)、可(1)、不可(0)

- ・ 機構の規定があるのは分かりますが一日だけではなく、アルコールの支給があれば会話が弾んだかもしれません。
- ・ もう少し洋食が多くても良かったと思います。ただ、他の面やサービスは完璧でした。
- ・ すばらしいセレクションでした。きれいで、よいサービス、おいしかったです。
- ・ 素晴らしいと思う。(大袈裟に言ってるわけではない。)

## 5. 事務局

優良(3)、良(1)、可(0)、不可(0)

- ・ 素晴らしい。あなた方のサポートに心からとても感謝している。

## 6. 沖縄の印象

優良(3)、良(1)、可(0)、不可(0)

- ・ 一つ残念だったことは、観光する時間機会がなかったことだ。(でもこれはあなた方のせいではない!)

## 7. その他のご意見、ご提案

- ・ 平らな枕

## ワークショップアンケート

## Multi-Scale Phenomena in Biology

## バイオロジーのマルチスケール現象

日付: 2008年11月4日~11月6日

回答数17件(講師6、参加者11、その他0)

## 1. 講義内容

優良(12)、良(5)、可(0)、不可(0)

- ・ 初日は過密スケジュールだった。
- ・ とても役に立った。ただ幅が広すぎて講義の約40%はほとんどの聴講者が理解できていなかった。
- ・ 時間割は完璧だった。科学分野の面白い内容がたくさん盛り込まれていた。
- ・ 発表者と質疑応答の時間が十分にあったところが良かった。

## 2. 会場

優良(16)、良(1)、可(0)、不可(0)

- ・ 設備が技術的によく整っており、快適で、よく準備されたミーティングルームだった。

## 3. 宿泊施設

リザンシーパークホテル: 優良(5)、良(1)、可(0)、不可(0)

シーサイドハウス: 優良(9)、良(1)、可(1)、不可(0)

- ・ 部屋はちょうど良い大きさで、部屋からの景色は素晴らしく快適。必要な物全てが部屋に揃っている。

## 4. 食事

優良(13)、良(4)、可(0)、不可(0)

- ・ 規則に制約されているのは分かるが、アルコールがいくらかあると夕食時の会話が円滑になるだろう。
- ・ 素晴らしいセレクション、清潔、良いサービス、おいしい食事。
- ・ もう少し洋食があれば良かった。でもそれ以外は、サービスは完璧だった。

## 5. 事務局

優良(16)、良(1)、可(0)、不可(0)

- ・ 完璧以上でした。この組織のスタイルを故郷に持ち帰りモデルとします。
- ・ よく準備されていました。

## 6. 沖縄の印象

優良(13)、良(3)、可(0)、不可(0)、未回答(0)

- ・ 美しい場所、少し静かすぎる。でも残念ながら、ここの地域の人々の暮らしぶりをほとんど見られなかった。
- ・ あまり分からない。
- ・ ポストカードと郵便局の案内は?

## 7. 旅行手配

優良(13)、良(3)、可(1)、不可(0)

- ・ 旅行会社は3社の航空会社の予約をリンクしてくれなかったため、チェックインの手続きを3回しなければならなかった。もし私に機内預かり荷物があったら、面倒なことになっていただろう。
- ・ ユナイテッドは満足度において統計上好ましい評価がない。お勧め: コンチネンタル。

- ・ サービスは正確、迅速、全てがスムーズに運んだ。
  - ・ とても助けになった。
8. その他のご意見、ご提案
- ・ 毎日の最後に全体討論の時間枠を30分程取る。講師全員がこの時間枠に参加する。参加者が討論に参加できるともっと良い。
  - ・ 講師もシーサイドハウスに宿泊していたら恐らくもっと良かっただろう。
  - ・ 「マルチスケール」の様々なトピックを取り上げるワークショップを次回計画する時には、また参加したい。
  - ・ 素晴らしいワークショップ。幅広い分野の方々から話が聞け、刺激になった。
  - ・ バイオロジーのマルチスケール現象を理解する上で最良のワークショップ。このワークショップに参加できて大変嬉しい。
  - ・ 素晴らしいワークショップ！
  - ・ 見事だった。どうもありがとう。
  - ・ 講演者の時間割：講演者は、討論の前に考えをまとめるため、休憩を入れる。講義中に邪魔にならない程度のおしゃべり感覚で討論できるシステム。
  - ・ 全ての参加者が数学の専門知識を持っているわけではないので、公式を説明するのではなく、基本的概念の観点からモデルを説明するよう（もしくは、せめてバランスを保つよう）講師に助言すると有益かもしれない。
  - ・ このワークショップへ招待してくれどうもありがとう。興味深い方々と知り合い、興味深いトピックを議論でき、嬉しい。
  - ・ 私は多くの会議に出席したが、これは群を抜いて最も良くまとめられ、よく考え抜かれた会議だ。この日本式のお手本を自分の所属機関へ持ち帰ろう！！素晴らしい仕事ぶり。会議の内容も要点を押さえていた。本当にありがとう！！A+

## ワークショップアンケート

### Gradients and Signalling: from chemotaxis to development

#### 勾配と情報伝達: 化学走性から発生まで

日付: 2008年11月17日~11月21日

回答数 46件 (講師 17、生徒 28、その他 1)

#### 1. 講義内容

- 優良 (35)、良 (11)、可 (0)、不可 (1) ※参加者の内1名は複数回答
- ・ トピックは良い。スケジュールはもっとコンパクトでもよい。午後の休憩が長すぎた。
  - ・ 講演の時間の長短のコンビネーションが良く、また、とても興味深い関連性のある幅広いトピックがカバーされていた。
  - ・ 講演とディスカッションの時間のバランスがよく取れていた。招待講演者にはもっと長い時間(40分間の全部の時間)を割り当ててもよい。講演者たちとのディスカッションは休憩中や食事中など十分な時間があった。
  - ・ 異なるトピックの講演開始前に導入部分が無かったので、研究分野の異なるプレゼンテーションについていきにくい時があった。
  - ・ 講演者の中にはその分野の専門でない参加者にとって聞きやすくするための配慮をしていない場合があった。略語ばかりの講演は私にとって時間の無駄に感じた。他の講演者の講演はすばらしく、それぞれの研究分野を興味深くプレゼンしてくれた。※この参加者は「優良」と「不可」の複数回答
  - ・ トピックはとても面白かったが、分野の幅の広さを考えると講演者は背景と内容の情報をもっと提供してもよかったのでは。
  - ・ 1時間の講演は長い様に思う。長くて40分/人でいいかもしれない。
  - ・ 幅広い分野のすばらしいトピックが講演者たちによって話されていた。
  - ・ 講演の内容が似通っていたものがあった。
  - ・ 招待講演者たちのレベルは素晴らしい。
  - ・ 少しトピックが片寄っている気がした。ハエが多かったような。
  - ・ 講演者、トピックともに素晴らしい。
  - ・ あのような広範囲にわたる分野の中で、最高に多様性に富んだ興味深いものだった。とても勉強になり、また刺激を受けた。
  - ・ 内容やコンセプトに関して、今まで参加した会議の中で最も良いもののひとつだった。スケジュールもとても良かった。
  - ・ トピックが幅広く、また多様だった。話される分野や課題についての概要紹介がもっとあれば良かった。
  - ・ 休憩時間はもう少し短くてもよい。イブニングセッションの開始を早め、ディナーはセッション後でもよい。
  - ・ 自分とは異なる分野の人々との交流は本当に良い刺激となった。多くを学んだ。

#### 2. 会場設備

- 優良 (41)、良 (5)、可 (0)、不可 (0)
- ・ 複数のコンピューターが接続できるように、スイッチングハブが必要。
  - ・ ひとつだけ残念だったのは、ポスターセッションが同じフロアでなく、1階と3階の二つに分かれていたこと。
  - ・ 素晴らしい会場！
  - ・ 素晴らしい施設だった。
  - ・ 会場の座席の配置は理想的ではなかった。両サイドの椅子の数が多すぎ、端に十分なスペースが